



## MRI装置が更新されました



検査・放射線部

2021年3月に3.0T(テスラ)MRI装置[GEヘルスケアジャパン社製:SIGNA Architect3.0T]が導入されました。今までは1.5T装置が2台稼働していましたが、更新後は1.5T装置と3.0T装置の2台稼働となり、検査目的に応じた使い分けをしております。MRI検査はCT検査に比べ被ばくの心配はありませんが、検査時間が約20~60分程度要し途中で何回も大きな音がします。お子さんが検査の途中で体を動かしてしまうと診断に役立つ良い画像が得られなくなりますので撮像中はじっとしてもらうことがとても重要です。そのため睡眠剤を投与して眠った状態で検査を実施することが多くなります。また、眠らないで頑張る検査を受けるお子さんに対しては、少しでも緊張が和らぐ環境になるよう新装置には装置本体や壁や天井に装飾を施し、検査中にDVD鑑賞ができるようになっています。これからも安心して楽しく検査ができるよう工夫してまいります。



### Concept コンセプト

#### ●基本理念

周産期・小児医療の総合施設として、母とこどもの高度専門医療を通じて、親と地域社会と一体になってこどもたちの健やかな成長を目指します。

#### ●基本方針

1. 患者の権利を尊重した医療の実践
2. 安全・安心と信頼の医療の遂行
3. 高度に専門化されたチーム医療の推進
4. 地域の医療・保健・福祉・教育機関との連携
5. 親とこどもが一体となった治療の推進
6. こどもへの愛とまことに満ちた医療人の育成
7. 医療ボランティアとの協調による患者サービスの向上
8. 継続的な高度専門医療提供のための経営の効率化



### 編集後記

新たな一年の始まりにいつもその年に心ずる言葉を選ぶことにしている。今年の干支は虎だが、敢えて「毒蛇は急がない」を選ぶ。かの冒険家にして名コピライターの開高健がタイで知ったという諺である。諸説ある様だが、泰然自若とした態度を美德とする意味であるらしい。コロナに振り回され、慌ただしい毎日、毒蛇に知恵を借りるとしたい。(H・T)

委員長：貝藤裕史  
 副委員長：大津雅秀 上西美奈子  
 委員：深江登志子 黒田隆二  
 林卓郎 粟田香奈子  
 井口秀子 寺田朝子  
 大原晴子 中村直子  
 琉隼人 時克志  
 石原奈央子 近藤由敬  
 笹井邦彦 東川果央

# げんき No.76 カエル

兵庫県立こども病院  
 ニュースレター



令和4年(2022) 2月1日

## 「コロナ禍の季節行事—職員約200名によるクリスマス動画」

こんにちは。新しい年が始まりました。本年がこども達やご家族の皆様にとって良い年になりますようお願いしています。

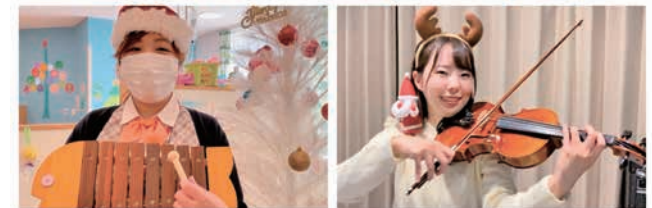
日本には四季折々の行事がありますが、こども病院でもこども達が楽しめるよう季節の行事を行っています。2021年の保育士企画によるクリスマスでは、職員約200名が出演する楽器演奏やダンスなどのクリスマス動画を作成し、入院中や外来のこども達やご家族に見ていただきました。動画に出演した職種は、医師・看護師・放射線技師・臨床検査技師・リハビリ職員・院内学級教員・売店職員・警備員・心理士・ケースワーカー・保育士などでバリエーションに富んだものとなりました。一度に集まることを避ける感染対策として、何度も鑑賞できる動画を使いました。

上映後にこども達やご家族からは「何度も見たい」「たくさん色んな人が出てきて面白かった」「職員が出ていて温かい気持ちになった」という感想をいただきました。

冬には冬の楽しみがあって、春には春の楽しみがあって、こども達が豊かに生活するための彩りになっていると思います。ハンドベルで参加した職員は、「いつもこども達に何かしてあげたいと思っているから参加できて嬉しい」と言っていました。サンタクロースのように一人で世界中の子どもに会いに行くことはできませんが、職員で協力し合って、治療中のこども達が楽しい時間を過ごせるように工夫していきたいと思っています。今年も、季節の中で輝きながら育っていくこども達の成長を願っています。



保育士  
 奥田  
 中村  
 坂東  
 馬場  
 田中  
 加藤  
 井藤  
 伊藤  
 中舎



本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立こども病院  
 HYOGO PREFECTURAL  
 KOBE  
 CHILDREN'S  
 HOSPITAL

〒650-0047  
 神戸市中央区港島南町1丁目6-7  
 TEL. 078-945-7300  
 FAX. 078-302-1023  
<http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>  
 e-mail:info\_kch@hp.pref.hyogo.jp





## 感謝



患者(匿名)

20年前の雪が降り積もる日、私は北部の小さな病院で生まれました。この病院は新生児科のない病院だったため、体の異常が見つかったのは、小児科医の医師による往診があった生後4日目でした。すぐに検査できる病院に搬送された結果、「先天性心疾患」と診断され、翌日に小児専門病院である兵庫県立こども病院に転院搬送されました。

私は両親にとって初めての子。それなのに、どうしてこんなことに…と両親は一時落ち込んだそうです。母は私が懸命に生きている姿を残したいと、入院中1日1枚は必ず写真を撮り、その日の出来事や体調・体重などを記録してくれていました。こども病院で精密検査したところ、色々な疾患が見つかり生後10~11日目にかけ連日の手術。その後も、退院どころか外出の見通しも立たない日々が続き、夏には風邪症状から急激に体調を崩し、死の寸前で蘇生されました。良くない現状を打破するために、生後10ヵ月目に一か八かの大手術を決行。心臓外科・循環器科・麻酔科の先生方や看護師の皆さんのおかげで手術は無事成功し、術後の経過も問題なく、順調に良くなりました。その結果、ようやく生後1年2ヵ月で退院し、自宅に帰ることができました。

赤ちゃんだった私は全く記憶がありませんが、当時の写真を見て母が色々と話してくれました。泣くと心臓に負担がかかるので、入院中は常に看

護師さんに抱っこされ、いつも仕事の邪魔をしていたそうです。

退院後も心臓の状態は良く、運動制限はあるものの無理をしなければ普通の生活ができていました。ところが、15歳頃から少し息苦しさ等の異変が表れ始め、夏の定期受診では「急性心不全」と診断され、まさかの緊急入院!

明らかな心肥大に体の浮腫みもあったため、真夏なのに1日わずか500mlしか摂れない厳しい水分制限が始まりました。なんとか辛い日々を乗り越え、2週間程で退院でき、翌年に弁置換手術することに。赤ちゃんの頃に何度も経験しているとはいえ、物心がついてから初めての手術。不安でいっぱいでしたが、顔見知りの看護師さんたちの多くの励まし、また医療スタッフの適切な対応のおかげで無事成功。この時、「将来はお世話になった医師・看護師さんたちと一緒にこども病院で働きたい」と思うようになり、自分の体の状況を考え医療事務の道に進むことを決意しました。

コロナ禍で厳しい社会情勢でしたが、今年の4月から兵庫県立こども病院に就職することができました。こども病院に救われたこの命を大切に、常に感謝の気持ちを忘れずに、私と同じような状況で不安な人たちの手助けができるよう一生懸命頑張っていこうと思っています。



退院時(当時1歳)



現在



## 「かき氷」と「わたがし」

栄養管理部

病棟夏祭りや血液腫瘍内科病棟・院内学級とコラボした食育イベントなど、こども病院には栄養管理部が主体となって行っているイベントがいくつかあります。

夏祭りにはたこせんべいやフライドポテト、食育イベントでは屋上庭園で収穫したさつまいもを使った焼き芋や芋けんぴを提供したり、クッキーと一緒に作ってみたり……どんなものが入院中のこども達に喜んでもらえるのだろうか、看護師や保育士の意見も聞きながら、栄養士、調理師でアイデアを出し合い内容を決めています。



その中でも、「かき氷」と「わたがし」は幾度となく登場し、当院では欠かせない出し物になっています。

なぜ「かき氷」と「わたがし」なのか、こどもが好きなお菓子は他にも沢山あるのに、「なぜ?」と不思議に思われるかもしれませんが、これらを選んでいる理由は3つあります。

一つ目は食物アレルギーの原因食材となりにくいからです。小児、特に年少児の食物アレルギーは卵、乳、小麦が大半を占めますが、かき氷とわたがしにはいずれも含まれず、食物アレルギーが原因で食べられないという事態にならずに済みます。

二つ目は、どちらも口に入れるとすぐに溶けるため、病気や障害により摂食能力が低下している場合や、離乳食を食べているような年少児でも、多くの場合食べることが出来ます。

三つ目は、どちらも原材料は砂糖(かき氷には香料が入る場合も)のみ。わたがしの大きさや、氷にかけるシロップの量を調整すれば、ごくわずかな砂糖だけで作ることができるので、消化器疾患や糖尿病、腎臓病など、食事制限が必要な場合でも食べることが出来ます。



わたがしがふわふわ膨らんでいく様子、ガリガリと大きな音とともにできていくかき氷、みんな興味津々な様子で見つめ、出来上がった時には嬉しそうな表情を見せてくれています。

たとえ病気や障害があっても、それを理由にせずできるだけみんなに食べてほしい、喜んでほしい。「かき氷」、「わたがし」を通じて、入院生活の中でもひと時の楽しい時間を今後も提供していきたいと思っています。



★かき氷機とわたがし機は、病気と闘う子ども達を対象としたチャリティー活動の一環として、慈善団体より寄贈いただいたものを使用しています。